

令和2年度 第3回 介護保険運営協議会議事録

開催日時 令和2年12月18日（金）午後2時00分から午後4時00分まで

開催場所 横須賀市役所 消防局庁舎4階 災害対策本部室

出席者

【委員】橋本委員長、鈴木副委員長、大島委員、菊池委員、佐野委員、千場委員、星名委員、松本委員、三浦委員、三堀委員、楊箸委員

（欠席）赤塚委員、五十嵐委員、石渡委員、金井委員

【事務局】介護保険課 小貫課長、坂本係長、鈴木係長、国部係長、佐藤係長
関係長、竹内係長、川崎、飯嶋、青井

地域福祉課 藤崎課長、田中課長補佐、中村係長、岩崎係長、杉崎主任、鈴木

指導監査課 草野課長、廣川係長、青山係長、澤村主任

健康長寿課 田中課長、川田係長、中島係長

【傍聴者】1名

1 開 会

事務局（介護保険課長）の司会で開会した。

2 議 題

（1）介護保険運営状況について【報告事項】

事務局から資料1に基づき説明を行った。質疑はなかった。

（2）地域密着型サービスについて

地域密着型サービス事業者指定に係る意見について【意見聴取事項（事後）】

事務局から資料2に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委 員 どちらの事業所も建物は平屋なのか。

事務局 「デイサービス はち」は平屋である。「デイサービス ジョイクラブ」は二階建てである。

委 員 15ページの写真⑨について、入り口が段差に見えるが、バリアフリーにな

っていないのか。

事務局 段差があるのでバリアフリーにはなっていない。利用の際には介助をするなどして利用者が不便を感じることがないように指導している。

①地域密着型サービス事業者等の指定更新について【報告事項】

②地域密着型サービス事業の廃止について【報告事項】

事務局から資料3-1および資料3-2に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委員 事業所の更新が何回目か一目でわかるような仕組みづくりは検討しているか。

事務局 検討していない。「介護情報サービスかながわ」というWebサイト上で当初の指定年月日がわかるので、それを見れば更新が何回目か判断することはできる。

(3) 地域包括支援センターについて【意見聴取事項（事後）】

事務局から資料4に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

委員 衣笠第二地域包括支援センターの事業評価について、昨年度より人員が増えたのに介護予防活動が停滞したのはなぜか。

事務局 人員の大幅な入れ替えにより、教室開催の必要性の分析・働きかけが出来なかったため、昨年度よりも評価が低くなっている。介護予防活動において、昨年度より評価は低かったものの、人員体制も整い、センター業務の柱である総合相談支援において昨年度よりも評価が上がったことをうけて、A評価とした。(※1)

委員 地域包括支援センターが自己評価をする一連の流れは新型コロナウイルスの影響ではなく、例年このような流れなのか。

事務局 例年このような流れである。

委員 過去に評価結果がCとなったことはあるのか。

事務局 ない。

委員 自己評価の結果によって委託料が変化するという事に違和感がある。地域包括支援センターが委託料を高くするために自己評価結果を高くしてしまうのではないかと感じるが、この流れは全国的一律なのか。

事務局 全国一律ではない。また、地域包括支援センターの自己評価結果が最終的な自己評価結果になるわけではない。自己評価結果に対して市がヒアリン

- グを行い、加点や減点をしたうえで最終的な評価結果となる。
- 委員 委託料が余った場合は返還されるのか。
- 事務局 減点評価分の委託料は返還される。
- 委員 評価結果に医療機関など外部評価が反映される仕組みになるとよいのではないか。
- 事務局 学識有識者による外部評価の現況を踏まえて、考えていく。

3 その他

(1) 第8期介護保険事業計画期間（令和3年度から令和5年度まで）における介護保険料所得段階について

事務局から資料5に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

- 委員 横須賀市はどの所得段階のボリュームが多いのか。
- 事務局 第8～第10段階が多い。
- 委員 案3をみると、料率の上限が限りなく増えていくような印象を受ける。上限を固定し、そのうえで中間層の数字を調整するほうがよいのではないか。
- 事務局 意見があったことを分科会へ伝える。

(2) 第8期介護保険事業計画における特別給付サービスの運用の一部変更について

事務局から資料6に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

- 委員 今後、需給のギャップがさらに大きくなるのではないかと考えている。民間のタクシー会社を活用するなど、事業をフォローする仕組みを考えていく必要があるのではないか。
- 事務局 今回は第8期計画における案ということで、あくまで今できるものを提案している。これが事業の最終的な形だとは考えていない。今後もその時期のニーズに応えられるようなものにしていきたいと考えている。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応について（高齢者関係）

事務局から資料7に基づき説明を行い、以下の質疑があった。

- 委員 今後、市内の介護事業所の休業状況などを本審議会で報告することは可能か。

事務局 どういった形で報告するかということも含めて検討していく。

4 閉 会

次回開催は3月19日（金）午後2時からを予定していることを事務局（介護保険課長）から提示し、閉会した。

※この議事録は委員等の発言の要点筆記である。

以上